

# Central Daily Market Report

2021年9月22日(水)  
セントラル短資株式会社 総合企画部

## ●資金需給

単位：億円	2021年9月22日 需給速報	2021年9月24日 需給予想	2021年9月27日 当社予想	
銀行券	▲ 700	▲ 200	0	
財政	▲ 1,600	6,600	2,000	
資金過不足	▲ 2,300	6,400	2,000	
<b>金融調節</b>	スタート	エンド	スタート	
貸出				
全店共通				
国債買現				
国債売現				
国庫短期証買入				
国債買入				
CP等買入		▲ 300	▲ 300	
貸出支援基金(成)				
貸出支援基金(貸)				
被災地支援				
社債等買入		800	▲ 100	
新型コロナ対応金融支援特別	241,800	▲ 186,700		
ETF買入				
国債補完供給	▲ 100	200	100	
※ドル資金供給用担保提供				
当増減	52,600	6,900	2,000	
当座預金残高	5,416,500	5,423,400	5,425,400	
準備預金残高	4,779,100			
積み終了先	4,779,000	9月24日以降の残り所要積立額		
超過準備	4,778,900	積数	5,300	
非準備預金先	637,400	1日平均	200	
積み期間(9/16~10/15)の所要準備額			3,615,500	
準備預金進捗率	実績	99.85%	日数	26.67%

## ●2021年9月22日の市場動向

### <インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀業態を中心に▲0.060~▲0.003%の調達で始まった。祝日を跨ぐ取引であるものの、取り急ぐ動きは見られず、一巡後も同水準の出合いが継続し、本日の取引を終えた。ターム物はショートタームの引き合いがあった。

### <レポ市場>

GC T/Nは、▲0.09~▲0.085%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### <短国市場>

本日のアウトライト市場は動意なく閑散な中、1Y物と6M物に出合いが見られた。

### <CP市場>

CP発行市場は、複数の業態で大型発行が実施された。発行レートは、引き続き低位で推移した。

## ●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

## ●2021年9月23日の予定

\*秋分の日 \*英中銀MPC結果発表

## ●2021年9月24日の予定

\*8月の全国消費者物価指数(CPI) (市場予想:前年同月比(除く生鮮)0.0%)  
\*国庫短期証券(1026回)入札(3ヶ月、50,000億円、9/27発行)  
\*米国8月の新築一戸建て販売件数

## ●短期金融市場関連指標

2021/9/22	無担(速報)			有担(速報)			短国 売買参考値	東京 レポレート 平均値	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位:%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.070	0.001	▲ 0.021				-	▲ 0.092	0.030	▲ 0.005	29,639.40	▲ 200.31	109.15-16	109.44-45
T/N	▲ 0.020	▲ 0.010	▲ 0.016				-	▲ 0.093						
S/N			▲ 0.005				-	-						
1W	▲ 0.010	0.001	0.000				-	▲ 0.098						
2W	▲ 0.015	▲ 0.001	▲ 0.008				-	▲ 0.099						
3W							-	▲ 0.101						
1M							-	▲ 0.102						
3M							▲ 0.115	▲ 0.108						
6M							▲ 0.120	▲ 0.120						
1Y							▲ 0.117	▲ 0.130						
									日付	9/14	9/15	9/16	9/17	9/21
									日銀当預残	5,292,300	5,284,800	5,303,600	5,297,300	5,363,900
									準備預金残	4,689,800	4,676,400	4,653,100	4,649,500	4,711,900
									マネタリーベース	6,507,800	6,500,500	6,520,100	6,514,100	6,581,500
									無担O/N加重平均	▲ 0.024%	▲ 0.033%	▲ 0.026%	▲ 0.022%	▲ 0.022%
									コール市場残高	146,218	138,600	164,201	173,402	172,697
									うち無担	127,287	121,829	146,593	155,934	155,594
									うちO/N	60,379	55,441	75,820	77,831	74,081
									うち有担	18,931	16,771	17,608	17,468	17,103

## ●オペ結果

種類	オフー額 (億円・ 百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付 利率	応札総額 (億円・ 百万ドル)	落札総額 (億円・ 百万ドル)	按分レート ・利回較差 ・価格較差	全取レート ・利回較差 ・価格較差	平均落札レート ・利回較差 ・価格較差	按分 比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オフー分)		2021/9/22	2021/9/24	▲ 0.350	80	80		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オフー分)		2021/9/22	2021/9/24	▲ 0.350	0	0				

## ●日銀政策決定会合・結果

### ●当面の金融政策運営について

1. 日本銀行は、本日、政策委員会・金融政策決定会合において、以下のとおり決定。

(1) 長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成8反対1)

次回金融政策決定会合までの金融市場調節方針は、以下のとおりとする。

短期金利: 日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。

長期金利: 10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。

(2) 資産買入れ方針(全員一致)

長期国債以外の資産の買入れについては、以下のとおりとする。

①ETFおよびJ-REITについては、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、必要に応じて、買入れを行う。

②CP等、社債等については、2022年3月末までの間、合計で約20兆円の残高を上限に、買入れを行う。

2. また、前回の金融政策決定会合において骨子案を公表した、気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション(気候変動対応オペ)について、

その詳細を決定した(全員一致)。

3. 日本銀行は、2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、これを安定的に持続するために必要な時点まで、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続する。

マネタリーベースについては、消費者物価指数(除く生鮮食品)の前年比上昇率の実績値が安定的に2%を超えるまで、拡大方針を継続する。

引き続き、①新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラム、②国債買入れやドルオペなどによる円貨および外貨の上限を設けない潤沢な供給、

③それぞれ約12兆円および約1,800億円の年間増加ペースの上限のもとでのETFおよびJ-REITの買入れにより、企業等の資金繰り支援と金融市場の安定維持に努めていく。

当面、新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、必要があれば、躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる。政策金利については、現在の長短金利の水準、または、それを下回る水準で推移することを想定している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂きます。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入